

IP-HE950D V01L032 変更内容一覧

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01L030～V01L031	アンシラリーデータ受信中、特定のビデオデータパターンとの組合せで、アンシラリーデコードエラーが発生することがある問題の対処。

IP-HE950D V01L031 変更内容一覧(公開日 : 2018 年 11 月 12 日)

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01L030	アンシラリーデータ受信時、ハードウェアに異常が無いにもかかわらず、VFD デバイス、FlashROM 異常のアラームが発生することがある問題の対処。

IP-HE950D V01L030 変更内容一覧

□ 新規追加項目

No.	項目	内容
1	ビデオ解像度	対応する解像度を追加。 SD(480i, 576i) H.265 : 1080i x 1440
2	ビデオ符号化	H.265 : 1080p x 1920 の符号化解像度に以下を追加。 垂直解像度 : 1080 (1088 のクロップサイズ、V01L021 までは 1088 のみ)
3	オーディオ符号化	対応する符号化に以下を追加。 MPEG-4 AAC LC MPEG-4 AAC ELD チャンネルモード : 5.1ch、4ch(2/2)、4ch(3/1)
4	符号化レート	受信可能な最大符号化レートを拡大。 ビデオレート : 68Mbps(V01L021 までは 58Mbps) システムレート : 70Mbps(V01L021 までは 60Mbps)
5	IPv6 対応	装置制御、ストリーム配信で IPv6 に対応。 プロトコル : http、SNMP、NTP、RTP、MLDv2
6	IP ネットワーク冗長機能	LAN1、LAN2 で同じストリーム受信し、一方のネットワーク断をショックレスで補完する機能を追加。 機能利用には「IP 冗長デコーダーオプション」要
7	HD x 4 チャンネル伝送機能	HD(1080i) x 4 チャンネル伝送機能(IP-HE950E と対向で動作)を追加。機能利用には下記オプションが必要。 「4K デコーダーオプション」 「素材伝送デコーダーオプション」 「Quad 3G-SDI 出力オプション」

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01L001～V01L021	パケットロスが無いにも係らず、ビデオデコードエラーが発生し、ビデオとオーディオがフリーズすることがある問題の対処。
2	V01L001～V01L021	IP で 50Mbps 以上の受信レートの場合に内部のデータ転送処理が間に合わず、パケットロスとすることがある問題の対処。
3	V01L001～V01L021	リファレンス設定を自走、BB または 3 値に設定すると、ビデオのスキップ/リピートの際に音飛びが発生する問題の対処。 (リファレンス設定が PCR の場合はビデオのスキップ/リピート、音飛びは発生しない。)
4	V01L001～V01L021	12G-SDI から出力するオーディオを正しく再生できない機器があるため、出力フォーマットを調整し再生できる様に対処。
5	V01L010～V01L021	IP-900E/IP-920E の FEC ありのストリーム受信時、パケットロスは復元出来たにも係らず、デコードエラーが発生することがある問題の対処。
6	V01L010～V01L021	以下の条件において SNMP マネージャーでトラップを認識できない問題の対処。 SNMPv2c のトラップ送信設定で、アラーム名称と詳細パラメータの文字数が 52 文字以上の場合にパケットフォーマットが不正となることがある。
7	V01L010～V01L021	BISS Mode E を使用する設定で装置を起動すると、ビデオが出力されない問題の対処。
8	V01L020～V01L021	リファレンス位相調整を行うと、アンシラリーデコードエラーが発生する問題の対処。
9	V01L020～V01L021	アンシラリーデコードエラーが発生した後、電源 OFF をしないと復旧しない場合がある問題の対処。

IP-HE950D V01L021 変更内容一覧(公開日 : 2018 年 5 月 24 日)

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01L001~V01L020	エンコーダーの設定変更時など、ストリームが途切れた時にオーディオ出力レベルが異常になることがある問題の対処。
2	V01L001~V01L020	同一エンコーダーからのストリーム受信で、受信インターフェースを DVB から IP に切り替えると SDI アナライザでフィールド周波数異常が検出される問題の対処。
3	V01L001~V01L020	SNMP Trap の Variable Binding 内の OID 情報が起動のタイミングにより 0 になり、SNMP マネージャーでアラーム詳細が識別できない場合がある問題の対処。
4	V01L020	オーディオ出力信号のチャンネルステータスに CRC エラーが発生する問題の対処。
5	V01L020	VANC ライン 9 に重畳されたアンシラリーデータがデコードエラーとなる問題の対処。
6	V01L020	アンシラリーデータのサイズによって、デコードエラーとなる問題の対処。
7	V01L020	SDI 映像出力とリファレンス信号 (BB/3 値) の位相差が大きくなっていた問題の対処。 リファレンス位相調整の値を変更する必要がある。

IP-HE950D V01L020 変更内容一覧(公開日：2017年12月11日)

□ 新規追加項目

No.	項目	内容
1	オーディオチャンネル数	オーディオ符号化チャンネル数を拡大。 素材伝送オプション：8ch 上記オプションなし：4ch
2	アンシラリーデータ伝送	SMPTE ST 2038/ARIB STD-B40 に準拠しアンシラリーデータを伝送。素材伝送オプション要。
3	低遅延対応	超低遅延モード(99ms～)に対応。従来モードも約 100ms 低遅延化。(実際の遅延量はビデオフォーマットや関連する設定値により変動。)
4	SDI 出力インターフェース	SDI 出力オプション(SFP)を追加。2 本目の SDI 出力に対応。
5	アナログオーディオ出力	アナログオーディオ出力(2ch)に対応。インターフェースはオプションの平衡音声ケーブル。
6	H.264 デコード	H.264 ビデオ(HD)ストリームをデコード。 ^{注)} 1080p x 1920 (50/59.94Hz) 1080i x 1920/1440 (50/59.94Hz) 720p x 1280 (50/59.94Hz)
7	MPEG-2 デコード	MPEG-2 ビデオ(HD)ストリームをデコード。 ^{注)} 1080i x 1920/1440 (50/59.94Hz) 720p x 1280 (50/59.94Hz)

注)全てのストリームのデコードを保証するものではありません。

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01L001～V01L010	装置起動時のログ時刻が「2016/1/1 0:00」となる問題の対処。
2	V01L001～V01L010	電源 ON および Web やフロントパネルからのソフトリセットで装置が起動しない場合がある問題の対処。 (一部のハードウェアで発生する場合がある。)
3	V01L010	メモリ異常ではないにも関わらず、装置起動時にアラーム「E090 メモリ異常#1」が発生する場合がある問題の対処。 (一部のハードウェアで発生する場合がある。)
4	V01L010	トランスポートプロトコルが UDP のストリームを受信できない問題の対処。

IP-HE950D V01L010 変更内容一覧(公開日 : 2017 年 8 月 8 日)

□ 新規追加項目

No.	項目	内容
1	ビデオ周波数	2160p x 3840/29.97Hz(出力は Quad Link)、 全解像度で 50Hz に対応。
2	ビデオ符号化	ビデオ信号 2160p で制限としていた以下に対応。 H.265 プロファイル : Main 422、Main 10
3	オーディオ符号化	MPEG-1 レイヤ 2、SMPTE302M [20bit/24bit] に対応。
4	BISS 機能	BISS-1/E 機能追加。
5	WEB 画面	WEB 画面の表示言語に英語を追加。
6	フロントパネル	表示項目、設定項目を強化。
7	SNMP 制御機能	SNMP 拡張 MIB による制御機能に対応。 MIB ファイルは WEB 画面よりダウンロード

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01L001	省電力イーサネット(Energy Efficient Ethernet)機器と接続した 際に相互調整機能が正しく機能せずにパケットロスが発生することがあ る問題の対処。
2	V01L001	4K 映像受信時、12G-SDI から出力されない場合がある問題の対 処。